北上市総合計画 2021～2030　令和4年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和3年度）

基本方針	4.力強い地域経済の創出
基本施策	4-3.時代の変化に対応した工業の振興
関連するプロジェクト	4.イノベーションチャレンジプロジェクト

工業のさらなる成長と時代を先取りする挑戦を支援するため、研究開発型（マザー型）企業誘致に加えて、新技術や新製品の研究開発、国内外への販路拡大等に関する支援を行うとともに、中小企業の生産性向上を支援します。

評価項目		
	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
B

R4事後
9

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針		成果指標	達成状況（対象：R3） （上段：指標に基づくもの　下段：指標以外のもの）	達成状況評価	達成状況分析（上段：指標に基づくもの　下段：指標以外のもの） 内部要因	達成状況分析（上段：指標に基づくもの　下段：指標以外のもの） 外部要因	今後の方向性 （◇：R4に着手予定・着手済み ◆：R5以降の着手を検討）
1	商工部	●	研究開発型（マザー型）を中心とする企業誘致の推進	立地動向・ニーズに応じた優遇策の実施とともに、新たにマザー機能を有する企業誘致に向けた優遇施策を検討・実施する。	①②④	・誘致企業件数は累計で242件となり、期待値を若干下回った。 ・R3年度は経済センサス実施年度であるが、工業統計の数値がR4.7月現在で未公表である。	B	北部産業業務団地造成においては、土地購入以前に農地転用、埋蔵文化財調査、都市計画区域変更等が必要となり、担当各部課に協力を得ている。	・新型コロナウイルス感染症蔓延下において企業訪問等の積極的な誘致活動をすることができなかった。併せて設備投資に慎重な企業が増えた。 ・市内企業においても改善などを含め、研究開発機能の必要性を訴える企業がある。 補助事業に関しては岩手県の理解も得ることができている。	◇産業業務団地整備事業については文化財調査を進め、立木伐採など着手可能な範囲で事業を進める。併せて、岩手県と協力しながら研究開発機能を有する企業の投資を促す。
						特に半導体製造関連企業に対して研究開発機能等に関する誘致を行った。		所謂「マザー機能」を持たせた企業・事業所等の誘致にあっては、高度人材の確保が必要となることから、福利厚生（教育、通勤など生活環境を含む）についての検討を進めている。	製造拠点が稼働したことから、それに付随した開発拠点を設置したいニーズがある。	
2	商工部	●	デジタル技術をはじめとした、テクノロジーの進化を活用した競争力の強化	デジタル技術等、テクノロジーの進化を活用し、生産性の向上・競争力強化に取り組む企業に向けた支援策を検討・実施する。	①②③	・R3年度は経済センサス実施年度であるため、工業統計の数値がR4.7月現在で未公表である。 ・産学共同研究補助金活用による新技術・新製品開発件数は1件であり、期待値に沿って推移している。	B	ワンストップ窓口の機能を有する産業支援センターにおいて、デジタル技術等に関する相談内容については、DEセンターや産振センターへ繋ぐなど、連携を図りながら、各企業への対応を行っている。	・R3企業訪問時の調査における市内製造業の景況感は「良い及び少し良い」と「悪い及び少し悪い」が同率であり、コロナの影響がまだある企業と少しずつ業況回復している企業が二極化している。 ・国がR3.6に「半導体・デジタル産業戦略」を策定し、半導体の国内製造基板の強化を国家プロジェクトとして進めることとした。 ・コロナの影響がある企業と、少しずつ業況回復している企業が二極化している。 ・半導体不足の影響を受けている企業が見受けられる。	◇事業規模維持及び拡大を支援するため、生産性向上緯線訓練受講等への補助を行い、中小企業の生産性向上に係る人材育成を支援する。 ◇北上コンピュータ・アカデミー及び北上職業訓練校の活動を引き続き支援していく。 ◇産業支援センターにおいて、デジタル化の進展に対応したセミナー等を実施し、DXの推進を図る。
						北上職業訓練校がいわてDEセンターと連携して実施する3次元モノづくり人材育成事業に対して補助金を支出するとともに、運営協議会に参画し、人材育成等の支援を行った。		産学官共同研究支援事業は大学との共同研究のみを支援であるが、産業間連携の活性化や更なる連携事業の促進が期待できるため、R3年度に事業の見直しを行った。	iotの活用によるDX（デジタルトランスインフォメーション）の実現に向けた取組が進んでいる。	

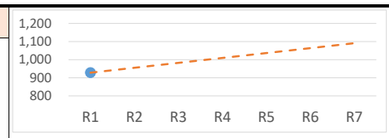
凡例　実績値　期待値

指　標　①

労働生産性（工業統計　粗付加価値額／従業員数）

指標の説明

労働者一人当たりが生み出す利益。効率化の程度を示す指標。



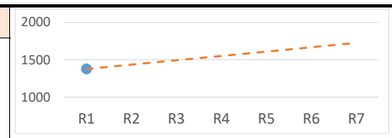
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
商工部	万円	実績値	928.0						
		期待値 ※R7は目標値	928.0	955.2	982.3	1,009.5	1,036.7	1,063.8	1,091.0
		備　考		未公表	未公表				R5

指　標　②

粗付加価値額（工業統計）

指標の説明

企業が一定期間に生み出した利益。経営向上の程度を示す指標。



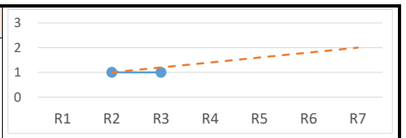
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
商工部	億円	実績値	1,376.0						
		期待値 ※R7は目標値	1,376.0	1,434.3	1,492.7	1,551.0	1,609.3	1,667.7	1,726.0
		備　考		未公表	未公表				R5

指　標　③

ものづくり企業チャレンジ支援事業補助金活用による新技術・新製品開発件数

指標の説明

産学共同研究補助金を活用し、新技術・新製品開発を行った件数



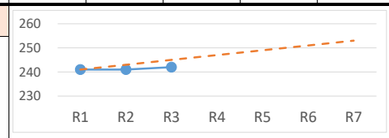
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
商工部	件	実績値	-	1	1				
		期待値 ※R7は目標値	-	1	1	1	2	2	2
		備　考							

指　標　④

誘致企業件数（累計）

指標の説明

企業を誘致した件数



担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
商工部	件	実績値	241	241	242				
		期待値 ※R7は目標値	241.0	243.0	245.0	247.0	249.0	251.0	253
		備　考							

指　標　⑤

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑥

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑦

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑧

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑨

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑩

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑪

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑫

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑬

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑭

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							

指　標　⑮

指標の説明

担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備　考							